

令和7年度 第3回 大阪市立矢田北小学校 学校協議会 実施報告書

校園名 大阪市立矢田北小学校
校園長名 清水 健司

日時	令和8(2026)年3月5日(水)午後6時	
場所	大阪市立矢田北小学校 会議室	
出席者	委員 など	安裕谷 幸三(委員長) 堺 政昭(委員) 林 弘子(委員) 伊東 勲(委員) 樋口 和弘(委員)
	校園	清水 健司(校長) 東山 由美(人権主担) 北林 哲也(教務)
	区役所	北川 賢志(区民企画課)
議題	(1)「運営に関する計画」(最終評価)について (全国体力調査について・学校アンケートについて)	
協議 要旨	協議の結果	意見の概要
	(1) 運営に関する計画(最終)について ・全国体力運動能力調査結果 ・学校教育アンケート結果と分析 ○運営に関する計画(最終)について、概ね承認を得た。 (2) その他(意見交流など)	・数値目標を設定することで評価が出るのは仕方がない。 C評価は、改善点を洗い出し、新たに進むことが肝心。A評価があったことは、うれしく感じる。 ・先生方が日頃より大変努力しているのがよく伝わってくる。保護者・家庭の協力があつたら、もっと状況が改善するのではないかといつも思う。 (家庭学習、ゲーム、スマホ、携帯等の生活指導等) ・中学校でも不登校の問題は加速している。「学校は楽しい」のアンケートもあるが、今は家庭の方が刺激があり(ゲーム、SNS、動画等)楽しい環境がそろっている。学校の学習は、今の児童には刺激が少なくなっている。 (理科の実験等の新しい発見でも) ・SNS、スマホの所持率が6割を超えている。小さな幼児・児童には自分を抑制したりする力がまだついていないので、外国と同じように携帯、SNSは禁止にする法律が必要である。学校だけでは対応できない問題となりつつある。国や行政も真剣に教育について考える時期である。 ・教育委員会の指示により、数字や数値で示していかなければならない現状に疑問を感じる。 ・勉強が苦手な児童には、運動面で伸ばしてあげるなど、一つでも自分の中で輝けるものをつくってほしい。その子の個性を伸ばす教育を進めてほしい。
協議資料	(1)「運営に関する計画」(最終評価) (2)全国体力・運動能力、運動習慣等調査(結果と分析) (3)学校教育アンケート(結果と分析) (4)令和7年度 研究紀要(算数)	
備考	傍聴者【0】名	